

第3回 北九州市孤独・孤立対策等連携協議会 会議録

1 開催日時

令和4年12月13日（火） 15時00分～17時00分

2 開催場所

場所：北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 5階 大セミナールーム

3 出席者等

(1) 参加団体（五十音順）

- ◆NPO法人 老いを支える北九州家族の会
- ◆社会福祉法人 北九州いのちの電話
- ◆北九州シェルター
- ◆公益財団法人 北九州国際交流協会
- ◆北九州市子ども・若者応援センターYELL
- ◆社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会
- ◆北九州市障害者基幹相談支援センター
- ◆北九州市ひきこもり地域支援センター
- ◆子ども食堂ネットワーク北九州
- ◆NPO法人 チャイルドライン北九州
- ◆認知症・草の根ネットワーク
- ◆NPO法人 フードバンク北九州ライフアゲイン
- ◆福岡県協力雇用主会
- ◆NPO法人 抱樸

(2) 行政関係者（課長以上）

地域福祉部長、孤独・孤立対策担当課長、地域支援担当課長、国際政策課長

(3) その他

株式会社グラファール 佐藤まみ（お悩みハンドブック開発者）

※議事に記載している意見等の標記について

- ◆・・・参加団体 ○・・・行政からの回答等

4 議事内容

(1) 行政からの説明「地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業について」

孤独・孤立対策担当課長から、本市における「地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業」の実施内容および進捗状況、今後のスケジュール等について説明。

そのうち、「支援者向け研修会」については、各団体の参加および関係する支援機関等への周知の協力をお願いした。

【主な意見と事務局回答】

◆研修について、みんな忙しいのでオンデマンドとかで見れるようにするというのも考えられるといいと思う。

○コロナ禍なのでそういうことも検討はしており、記録映像は残す予定である。第1回目ということや対面のほうが一番連携しやすいことから、まずは対面で実施し、みなさんのアンケートも参考にしながら今後の展開を考えていきたい。

(2) 行政からの説明「「お悩みハンドブック北九州市版」の公開について」

孤独・孤立対策担当課長が、資料「お悩みハンドブック 北九州市版 の導入について」に沿って導入理由や経緯の説明を行ったあと、開発者である株式会社グラファターの佐藤まみ氏より、「お悩みハンドブック」の開発に至った経緯や本サイトの特徴などについて説明を行った。

(3) ケーススタディ テーマ：「男性介護者の孤独・孤立」

孤独・孤立対策担当課長より、ケーススタディの実施方法や進め方、本日のテーマ選定の理由などについて説明。その後、NPO法人「老いを支える北九州家族の会」からケース発表を行った。